FOCUS

住みたい街は「東京」

麗澤大学 未来工学研究センター 教授 宗健

2023年5月に新型コロナがインフルエンザと同じ5類に移行し、世の中の雰囲気は一気に変わったようだ。

もちろん新型コロナの影響がなくなり、すべてがコロナ過以前に戻ったわけではなく、タクシー運転手の数がコロナ過前よりも2割近く減少したままであるなど、影響は残っている。

東京都への転入超過数もコロナ過の 2020 年度から 2022 年度に大きく減少したが 2023 年に入ってからはコロナ過前の水準に戻りつ つある。

本稿では、筆者が企画・設計・分析を行っている「いい部屋ネット街の住みここち&住みたい街ランキング」から、東京一極集中の背景の一つだと考えられる、全国 47 都道府県ごとの住みたい街ランキングを通して、地方から見た東京の人気を考えてみたい。

東京の人気は全国区

「いい部屋ネット街の住みここち&住みたい街ランキング」は2019年から発表されており、2023年までの5年間の累計回答者数が80万人を超える大規模な調査であり、調査対象も全国となっている。

街の住みここち・住みたい街・街の幸福度・ 住み続けたい街などの様々な調査結果は特 設サイト https://www.eheya.net/sumicoco/ に掲載されており、8月 23 日には街の住みここち&住みたい街ランキングの全国版・都道府県版が発表されている。

全国 47 都道府県の居住者が投票した住み たい街ランキングの結果をまとめてみると次頁 別表のようになる。

47 都道府県のうち東京 23 区が住みたい街 1位だったのは東京都を含め6都府県、2位だったのは23 道府県、3位だったのは13 県、計42 都道府県となっている。

そして、表には表示していないが、住みたい 街4位が東京 23 区だったのは、千葉県・島根 県・福岡県・佐賀県の4県、5位だったのは兵 庫県となっている。

結局、東京 23 区は全国 47 都道府県すべてで住みたい街の5位以内にランクインしているという圧倒的な人気なのだ。

地方創生がいくら叫ばれても、これだけの人気を見れば、コロナ過明けに再び東京一極集中が進むことは止められないだろう。

存在感を増している福岡市

東京 23 区は全国区の人気だが、地方都市 にも人気の街がある。

北海道には 179 の市町村があり、面積も8万㎡以上、九州の2倍以上と広い。その中で札幌市中央区が1位というのは非常に広い範囲からの支持を受けていることになる。

同様に、仙台市も東北6県の岩手県以外では住みたい街1位であり、こちらも広い範囲から支持を受けていると言える。

地方都市の中では、福岡市の存在感の大きさが際立つ。福岡市は山口県で1位、広島県で3位、表には示していないが島根県で5

都道府県 住みたい街ランキン				
		1位	2位	3位
70	<u>海道</u>	中央区		函館市
東北	青森県	仙台市	東京23区	弘前市
	岩手県 宮城県	盛岡市	仙台市	東京23区
	舌城宗	青葉区 仙台市	東京23区 秋田市	太白区 東京23区 東京23区
146	秋田県 山形県	仙台市	松田川	東京23区
	福島県	仙台市	郡山市	東京23区
11	茨城県	つくば市	東京23区	水戸市
圍	栃木県	宇都宮市	東京23区	さいたま市
事	群馬県	高崎市	東京23区	さいたま市
	埼玉県	大宮区	浦和区	港区
首都圏	千葉県	浦安市	流山市	船橋市
	東京都	港区	武蔵野市	渋谷区
	神奈川県	西区	中区	世田谷区
甲		東京23区	松本市	長野市
信	山梨県	東京23区	甲府市	横浜市
越	新潟県	中央区	東京23区	長岡市
北陸	富山県	富山市	東京23区	金沢市
	石川県	金沢市	野々市市	東京23区
	福井県	福井市	東京23区	金沢市
東海	岐阜県	名古屋市	東京23区	岐阜市
	静岡県	東京23区	静岡市葵区	
		千種区	東京23区	中区
	三重県	名古屋市	東京23区	大阪市
関西	滋賀県	草津市	東京23区	大津市
	京都府	東京23区	中京区	北区
	大阪府	北区	東京23区	西宮市
	兵庫県	西宮市	明石市	中央区
	奈良県	奈良市	東京23区	橿原市
	和歌山県	和歌山市	東京23区	天王寺区
四国	徳島県	徳島市	神戸市	東京23区
	香川県	高松市	東京23区	大阪市
	愛媛県	松山市	東京23区	大阪市
	高知県	高知市	東京23区	神戸市
中国	鳥取県	東京23区	米子市	神戸市
	島根県	出雲市	松江市	広島市
	岡山県	北区	東京23区	倉敷市
	広島県	中区	東京23区	福岡市
	山口県	福岡市	果尔23区	広島市
九州	福岡県	博多区	中央区	東区
	佐賀県	福岡市	鳥栖市	佐賀市 東京23区
	長崎県	福岡市 福岡市	長崎市 中央区	
	熊本県 大分県	福岡市	中央区 大分市	東京23区
	宮崎県	福岡市	大分川	東京23区 東京23区
	舌呵乐 鹿児島県	徳川川	福岡市	東京23区
油	<u>庇元岛宗 </u> 縄県	那覇市	東京23区	福岡市
各都道府県所在の政令市の場合は区名のみ表記				

位など、九州・沖縄だけでなく、中国地方から の支持も受けている。

東名阪以外の地方都市としては札仙広福 と呼ばれた札幌・仙台・広島・福岡の4市が地 方中核都市の代表だったが、福岡市がその 存在感を増しているようだ。

一方、広島市は広島県以外では島根県と 山口県で3位となっているだけである。

住みたい街の順位という観点では、名古屋市も岐阜県と三重県で1位となっているだけで、大阪市も奈良県4位と和歌山県3位に天王寺区が、徳島県の4位、香川県と愛媛県の3位にランクインしているだけで意外と支持が広がっていない。

県庁所在地も安定の人気

東京 23 区と福岡市が住みたい街としては 目立つが、県庁所在地も安定した人気となっ ている。1~3位の中に都道府県庁所在地が ランクインしていないのは、青森県(5位)、福 島県(4位)、群馬県(5位)、千葉県(5位)、 三重県(4位)、山口県の6県だけで、5位以 内に県庁所在地がランクインしていないのは 山口県だけとなっている。

北陸3県や四国4県では1位はすべて県庁 所在地となっており、それ以外では北海道、 岩手県、栃木県、埼玉県、東京都、神奈川県、 新潟県、愛知県、大阪府、奈良県、和歌山県、 岡山県、広島県、福岡県、鹿児島県、沖縄県 など合計 23 都府県で1位となっている。

こうした人気の傾向が、人口減少地域から 県庁所在地へ、県庁所在地を含む全国から 東京へ、という二重の動きとなって、これからさ らに東京一極集中が進む可能性がある。

高度成長期以来の「国土の均衡ある発展」 はそのコンセプトから見直す必要があるだろう。